

人物情報データベース

じんぶつプラス

2026年4月 リリース！

日本全国から旧植民地まで、
著名人からあなたのルーツまで

人物情報データベース
じんぶつプラス
日本全国から旧植民地まで、著名人からあなたのルーツまで

登録人物数：122,470人
登録書籍数：456冊

人名から探す 書籍から探す 本文から探す

人物検索

検索したい人物またはキーワードを入力してください

検索

じんぶつプラスでは、人物叢伝や人物事典などの資料を横断検索できます。本文はOCRでフルテキストを取得しています。

※開発中画面です

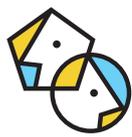
人物情報データベースのスタンダードを
目指して鋭意構築中！

じんぶつプラスはこんなデータベースです！

- WEBの単純な検索では情報が出てこない人物の調査ができる（当面は「明治以降、日本人のみ」）
- のべ100万人以上が収録されている弊社の『日本人物情報大系』（全100巻）のほか、NDLが所蔵していない資料、とくに地方や旧植民地などローカル・レベルのものも収録していきます
- 人物叢伝（列伝、地方や業界の名士録、自治体史の人物篇など）や人名事典などを続々登載
- 全文検索、画面上での本文閲覧ができる（著作権法上問題のないコンテンツのみ）
- デジコレ収録ながら目次を欠く人物資料の目次を独自入力し、ダイレクトに掲載頁を閲覧できる
- 本文を見られない場合でも「その人物の情報が、どの資料に掲載されているか」が分かる
- 人物と人物を関連づける「ユーザータグ」機能、フルテキストデータの修正依頼機能などを開発、ユーザーの皆さんと一緒に「成長するデータベース」を目指します！

【大学図書館様向け】

株式会社
皓星社



人物情報データベース

じんぶつプラスとは？

誰でも知っている有名人ではないが、全く無名の人でもない……そんな人物の調査で困ったことはありませんか？この「じんぶつプラス」は、そんな時に役立つような、**WEBの単純な検索だけでは情報がでてこない人物を調べられるデータベースを目指しています。**

1990年代に弊社が刊行した『日本人物情報大系』全100巻をスタートに、当時はここに収録できなかった資料、とくに国立国会図書館（NDL）で所蔵していない人物資料や、地方・旧植民地などローカル・レベルの資料も収録していきます。**学術的な調査・研究から、ファミリーヒストリー調査まで、幅広く活用できるデータベース**としてお届けいたします。

大きな特長は、**NDLがオープンソースで公開しているAI-OCRを登載して**、著作権の問題がないコンテンツについては**全文検索ができること**。見出人名レベルでの検索や、属性からの絞り込み検索機能もあります。2026年4月リリース時までには、50万人の見出人名登録を目指して鋭意制作中です。どうぞご期待ください。



人物情報データベース

じんぶつプラスの得意範囲

	じんぶつプラス	某商用 DB	Wikipedia
概要	日本国内で発行された、多岐にわたる人物資料を横断検索できる。AI-OCRで取得したフルテキストから 全文検索のうえ、典拠となる本文も読める	歴史上の人物から現在活躍中の人物までの人物・文献情報と、各種人物事典の索引を横断検索できる	インターネット上の百科事典。人物を問わずなんでも検索できる
時代範囲・対象	リリース時は主に明治～昭和中期。物故者に注力。中長期的には範囲・対象を問わず登録	古代から現在だが、特に強いのは1980年代以降	範囲・対象を問わない
特長	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBの単純な検索では調べられない人物の調査に役立つ ・NDL デジコレのデータ不足を補充 ・NDL にない人物資料を重点的に登載 ・調べた人物が言及されている文献を「ざっさくプラス」の3000万件から検索可 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の人物調査に役立つ（Wikiと重複） ・典拠（非公開）をもとにスタッフが経歴を執筆 ・調べた人物が言及されている文献190万件を収録 	過去現在を問わない
典拠の明示	◎（人物叢伝・列伝／紳士録／人物・人名事典、名簿類 その他あらゆる人物資料）	×（非公開）	項目による
登録件数	スタート時約50万人目標（見出人名） ・全文検索の結果を含まない	約80万人（下記から重複を排す） ・人物・文献情報 33万人 ・各種人物事典の索引 65万人	存命人物のみで約136万人
全文検索 （典拠となる本の）	◎	×	×
ユーザー参加	◎（修正申告、タグ付け、登録オファー）	×	◎
肖像	○（一部）	×	○（一部）
他 DB との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ざっさくプラス（約3000万件） ・国会図書館デジタルコレクション ほかのDBとも積極的に連携していきます！	×	×



人物情報データベース

jinbutsu plus

はこんな資料を収録しています

● 『日本人物情報大系』をはじめとする、弊社独自資料

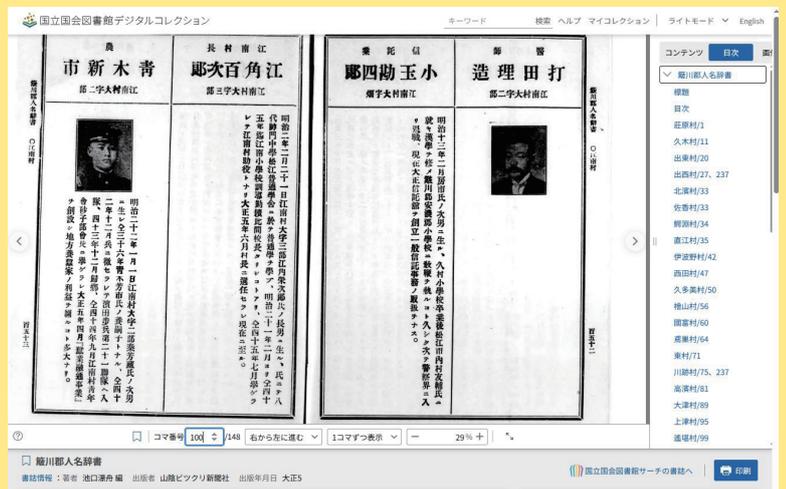
弊社から刊行された人物叢伝の復刻シリーズ『日本人物情報大系』（全100巻、約430タイトルを収録）。「女性」「満洲」「憲政」「企業家」「学芸」「書画」「朝鮮」「諸芸・諸職」「宗教」の10分野からなる同叢書を登載、特に「満洲」「朝鮮」といった旧植民地関係のものは国会図書館にも所蔵が無いものを多く含みます。「在朝鮮内地人紳士名鑑」「満洲紳士録」といった紳士録や「仏教年鑑」「基督教年鑑」などの「人名録」部分、満鉄の社員名簿などをデータベースで検索することを可能にしました。これ以外にも国会図書館未所蔵の資料を購入したり、所蔵者から提供を受けることにより、ドシドシ登載していきます。これにより「国立国会図書館デジタルコレクション」では検索できない人物情報を調べることができます！



約430タイトルを順次登載していきます

● 国立国会図書館デジタルコレクション

国立国会図書館がデジタル化した膨大な書籍の中から、地方人名録・業界紳士録・人物列伝などを博搜。目次の作られていないもの、全文検索で引っかけられない「郎木青」といった表記が右から左になっている人名を独自に目次化して登載、人物の掲載頁のURLとリンクさせることにより、ダイレクトに目的の人物の頁に遷移することができます。膨大な母数を持つ「デジタルコレクション」から人物関係の資料をより分けることで母数を小さくし、より便利に「デジタルコレクション」を使えるようにします！



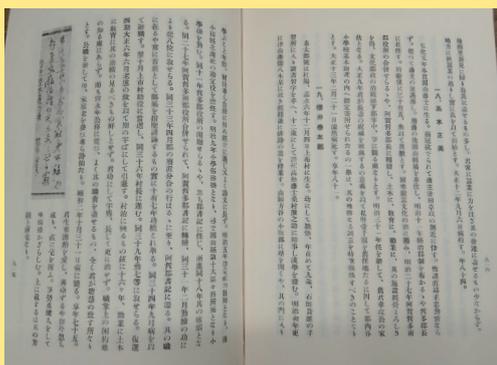
現状では全文検索で引けない「市新木青」を「青木新市」として目次化

● 明治大学「自治体史コレクション」

明治大学図書館は『愛知県史』『名古屋市史』『愛知県西春日井郡誌』『蟹江町史』といった“自治体史”を積極的に収集してきました。そのコレクションは国会図書館に勝るとも劣らない質と量を誇り、国会図書館未所蔵のものも数多く所蔵しています。弊社では明治大学の協力を得て自治体史に含まれる“人物篇”“人物誌”の頁を洗い出してスキャン作業を行い、著作権が切れているものや許諾が得られたものについては順次データベースに取り込み、本文画像閲覧・本文検索を可能にしていきます。画像閲覧ができないものも、どの自治体史に誰の情報が掲載されているか、という情報を検索できるようにします！



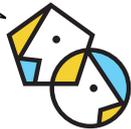
自治体史の人物情報はまだまだ未整理の分野です



このような感じで地元の有名人が掲載されています



調査・研究に
役立つ!



人物情報データベース じんぶつプラス

使い方ガイド

～検索から人物情報の入手まで～

① 基本画面



調べたい人名やキーワードを入れて検索してください。「人物検索」「書籍目次」「書籍本文」を横断検索します。キーワードの場合は「書籍本文」のみが検索対象になります。

ここでは、「後藤新平」(1857-1829)を検索してみます。政治家として知られる後藤新平ですが、台湾総督府、満鉄調査部、東京市政調査会など赴任する先々で、大掛かりな目録作成事業を行った人物でもあります。

(これらの目録は、弊社の雑誌記事索引データベース「ざっさくプラス」に đăng載されています)

検索を実行すると**3種類の検索結果が表示されます**。

② 「検索結果画面」の見方



後藤新平		人物典拠画面
人物名	後藤新平	
姓/名	後藤/新平	
かな	ごとうしんぺい	
別名/かな		
肩書・職業	政治家 満鉄総裁 伯爵	
分類コード	政治・行政	
出身	陸奥国胆沢郡塩釜村 (若手県奥州市)	
生年月日	安政4年6月4日	
没年月日	昭和4年4月13日	
備考		
関連書籍	書籍詳細	外部リンク・備考
	政府内人物評 (1909)	https://dl.ndl.go.jp/pid/778198
	中央之旧仙台湾人譚 (1917)	https://dl.ndl.go.jp/pid/959088
	現代名士新入立志伝 (1925)	https://dl.ndl.go.jp/pid/983271
	政局を繰る人々 (1926)	https://dl.ndl.go.jp/pid/1017805
	若手県名士肖像録 (1930)	https://dl.ndl.go.jp/pid/1024213
Web NDL Authorities	Web NDL Authoritiesで検索を行う ※Web NDL Authoritiesの検索結果を表示します	
ユーザータグ	#内相 #帝都復興院総裁	#台湾 #東京市長 #鉄道院総裁
訃報典拠		

1 人物検索

「人物検索」では、「別名」「肩書・職業」「生没年月日」「分類」など人物を同定できる情報を表示します。「関連書籍」をクリックすると、その人物が掲載されている書籍のページに遷移します。「ユーザータグ」はユーザー自身が編集できます。他ユーザーが使って便利な、いろいろなグルーピングを試してください。「人物名」をクリックするとより詳細な「人物典拠画面」に遷移し、「出身」も表示されます。外部サイト「Web NDL Authorities」へのリンクもあり、人物によっては「Wikipedia」までシームレスに遷移できます。別画面では「人名」「肩書・職業」「生没年」「分類」「出身」で絞り込み検索も可能です。

「ざっさく連携」ボタンをクリックすると、ざっさくプラスの簡易検索結果画面に移動し、当該人物が書いた記事、当該人物について書かれた記事のリストを見ることができます。(ざっさくプラスの契約が必要です)



人物情報データベース

じんぶつプラスを推薦します!

石川県立図書館長、慶應義塾大学名誉教授

人物情報を縦横に

田村俊作

人物情報の探索は図書館レファレンスサービスにとりニーズの多い一大テーマで、これまでにさまざまな探索法が提案されさまざまなツールが作成されてきた。人物書誌とか人物文献目録とか人名情報索引とか呼び方はさまざまだが、いずれも伝記書や人名事典などの出版物に収録されている人物情報の検索ツールである。インターネット上でも同様の検索ツールがあるが、古い人名事典等のコンテンツを直接参照できるものは非常に少ない。国立国会図書館のデジタルコレクションは膨大な量の書籍から全文検索で探してくれるが、量が多すぎて人物情報に絞り込むのは難しいし、未収録の人名事典等もある。本データベースは人物情報に特化して、国会未収録のものも含め、しかも冊子体の人名事典等を見に行く手間もない、使いやすいデータベースである。検索結果を一覧して、横並びに見比べることもできるし、時代を追って人物情報の変化を見ることもできる。とくに昭和以前の人物調査にはとても便利なツールである。

不思議なボタン

『地方史文献年鑑』編集者

飯澤文夫

このデータベースは、明治期以降に全国津々浦々で刊行された様々な人名録・人名事典や叢伝の類を根こそぎ取り込み、さらに本文にOCRをかけてテキスト化し、全文検索を可能にするという壮大なものだ。

しかし、OCRには誤読がつきまとう。原文自体の誤りもあるだろう。そこで登場したのが、【本文内容を指摘する】ボタン。つまり、ユーザー自身が修正し、申告してもらおうという仕掛けである。ユーザー参加で作上げるデータベース。検索意欲がかきたえられる。

「成長するデータベース」への期待

明治大学教授

三浦太郎

図書館界で活躍した人物を調べるツールに『図書館人物事典』（日外アソシエーツ、2017）がある。図書館員や関係者 1,421 人が取められ、図書館という社会的制度に関わった内外の人びとの略歴や事績を知ることができるが、時代に生きた人びとを隈なく記述するには限界もあったと言える。人名鑑や地域資料の中に埋もれた人びとをどのようにすくい上げるか、という課題はそのひとつである。このたび、「成長するデータベース」を志向する新たな取り組みとして『じんぶつプラス』が発表された。人物資料を探するための検索手段が広がり、これまで光の当たらなかった図書館人と出会う機会も増えることが楽しみである。図書館界のみならず、さまざまな領域で活用されることを期待したい。

社史研究者、元経団連レファレンスライブラリー長

成長し続ける立体的なデータベース

村橋勝子

「じんぶつプラス」は、集めた膨大な人物データの典拠を明示し、書籍の書誌情報の詳細がわかり、当該ページに直接遷移して、その人物が立項されているページを直接見ることができる（原文画像だけでなく、テキストも配置してある）、肖像掲載の有無もわかる、外部「人物情報」との紐付けができるなど、至れり尽くせりの上、将来的には、ユーザーからの修正も可能など、既存のデータベースにない、深い立体的な、成長するデータベースである。一出版社が、この壮大な人物データベースの構築に挑んでいることに大いに感じ入る。

大いに期待

新しい人物に関するデータベースが登場した。非常に好ましい。この世界は人によって作られているので、過去も、現在も、人に関する文献・情報が、何にも増して必要となる。その意味でデータベースはいくらあってもいい。ただ、人物事典の作成に関わった経験があるが、そこでは確かな事実を確認するということがいかに難しいかを味わった。本人が語っている、確認していると言っても、その中にも当てにならないものが少なくないのだ。人は自分で記憶・事実を作るものだ。その点で、参照できる資料は多い方がよい。このDBは同社の『日本人物情報大系』全100巻をはじめ、人物にかんする情報を継続的に登録していくということなので、大いに期待している。

祖父の名で検索する

—— NDL デジタルコレクション活用の最初の一步

拙著『もっと調べる技術』にも書いたが、NDL デジコレは万能ゆえに有効活用がしづらい。そこで即効性があるのが先祖調べ、ファミリーヒストリーである。私の父方の祖父「浅香勇吉」で検索すると31件ヒットする(2025年5月現在)。出版日の古い順で結果表示すると、古すぎる最初の3件、新しすぎる終わりの3件は同姓同名の異人とわかる。少しノイズを除き、残りの20件前後で満洲で活躍した時代から金沢に引き揚げた経歴が本人に聞いたよりはっきりとわかる。データはこれからも順次増えていくので、ふと思い出したら祖父の名で検索しなおすと何系統のデータが増えたかもわかる。

しかし、一人の調査にこんな手間ひまをかけられない調査で役立つのが「じんぶつプラス」ということになる。

私の前職は国立国会図書館(National Diet Library: NDL)のレファレンス司書(調べもの相談係)だった。そこでよく聞かれたのは人物情報だった。実は織田信長や吉田茂といった「超有名人」は聞かれない。一般的なレファレンス・ツールである人名辞典に出てくるからである。来館者が調べたいのに人名辞典に出てこず聞いてくる、そんな人物は、特定の地域や業界、時代でだけ有名だった「限定的有名人」なのだ。そこで司書は、利用者からうまくその人物の活躍年代や場所、業界を聞き出して、それがらみのレファレンス・ツールを使い分けるというのが回答のコツだった。

日本最大の資料集積地、国立国会図書館では目下、明治以来、2000年までの図書・雑誌をすべてデジタル化し、ネットから全文検索できるようにしつつある。このデータベースを「デジタルコレクション」(俗称: NDL デジコレ)という。このデジコレで人名辞典に出てこない人物名を検索すると、なかなか情報が出てこなかった「限定的有名人」のこともかなり判るようになってきた。大変便利である。人物情報に限らず、何でもわかるかのようだ。

しかし、そんな、なんでもできる魔法のツールは、特定の用途で使うにはいろいろな前提を設定したり、多くの検索結果からノイズ(余計な情報)をより分けたり、意外と使い方が難しい。また、蔵書量で国内最大ではあるものの、本当に全部が国会図書館にあるわけでもなく、特に地方や戦前外地(満洲や朝鮮、台湾)の資料はあまり取り込まれていないわけである。

皓星社が開発しているデータベース「じんぶつプラス」は、NDL デジコレを含め各種情報源から、司書のコツがなくとも人物情報のみを効率的に引き出せるデータベースを目指している。さらにまた、「国会図書館にない本」の人物データについても精力的に取り込みを企図している。つまり、デジコレにない情報も、デジコレでない(人物調査に特化した)方法で検索できるのが「じんぶつプラス」の売りである。人物情報を調べる人にとって便利なデータベースとなるだろう。

もしデータが考えられる限りのものにまで拡大したならば、「これで判らなければ、当面わからない」と考えていいのではなかろうか。

皓星社のデータベース



雑誌記事索引データベース ざっさくプラス

総合雑誌から地方誌まで、明治から現在まで

<https://zassaku-plus.com/>

絶賛稼働中

明治初期から現在までに日本国内(旧植民地含む)で刊行された雑誌記事、総合雑誌から地方誌までの雑誌記事をシームレスに検索できます。国内外約 200 機関で採用されています。

登録件数
約 **3000万件**

2022年11月25日公開

日本の参考図書 WEB版

明治以降、2011年までに出版された、
35,000冊のレファレンス・ブックを検索!

無料

<https://www.jrb-db.org/>

明治以降、2011年までに刊行された35,000点以上の参考図書を検索できるデータベース。書名や著者名はもちろんのこと、解題書誌のキーワードやNDCからも検索できます(日本図書館協会より維持管理を受託し提供中)。

—— 閉鎖するデータベースのデータ、お引き受けします ——

皓星社は、閉鎖予定のデータベースのデータを引き取り、続けて公開しております。かねてより、図書館関係者の方から「科研で作られたデータベースで、非常に有益なものなのに、教授の退官時や公開サイトの閉鎖時に消滅してしまうものが多い」という声を聞いておりました。そうしたデータを消さず、拾い上げたいと考えています。詳細はお問い合わせください。

皓星社のレファレンスツール



長島愛生園 神谷書庫所蔵目録

「愛生」編集部 編

岡山県の国立ハンセン病療養所・長島愛生園に、精神科医・神谷美恵子の名前を冠した図書室がある。歴代の入所者有志が全国の療養所から集めた機関誌(約8500点)や書籍など(約4000点)を所蔵し、ハンセン病関連文献では日本随一のコレクションだ。本書はこの書庫の全貌を初めて明らかにする。岡山県立図書館の「ハンセン病関係資料目録」(約1600点)も併載し、これらの所蔵を併せて引ける「書名」「著者名」「出版者名」の3つの索引付き。

B5判並製・1320頁・45000円+税 2024年11月

大宅壮一文庫所蔵総目録

公益財団法人 大宅壮一文庫 編

日本唯一の雑誌専門図書館・大宅壮一文庫が所蔵する約12,700誌、約80万冊の所蔵総目録。雑誌タイトルや出版者の変遷も記載しており、「雑誌事典」としても活用できる。

B5判上製函入・776頁・30000円+税 2021年5月

決定版 戦没画学生人名録

戦没画学生慰霊美術館 無言館 編

日中戦争・太平洋戦争で亡くなった戦没画学生らの経歴・作品を取めた『新版 戦没画学生人名録』(2009年)を大幅に増補改訂。無言館収蔵作品を中心に図版335点(カラー多数)を収録する。経歴に韓国語・中国語・英語訳を併記。

B5判上製・404頁・8000円+税 2022年5月



全国タウン誌総覧

地域情報誌・ミニコミ・フリーペーパー・8700誌

柴田志帆 編著

日本国内の各地域で作られ地域の情報を発信する、いわゆるタウン誌8700タイトルの書誌情報を収集・統合して地域別に排列。「誌名」「出版者名」の2種類の索引を用意し、編著者による「タウン誌の歴史」「『全国タウン誌総覧』の作り方」と小林昌樹(元国立国会図書館)による解説を付す。

B5判上製・632頁・15000円+税 2022年9月

お問い合わせは以下メールアドレス、または総代理店まで。

株式会社
皓星社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10 宝栄ビル6階
TEL: 03-6272-9330 FAX: 03-6272-9921
E-mail: zassaku-plus@libro-koseisha.co.jp
HP: <http://www.libro-koseisha.co.jp/>

【取扱(総代理店)】

M MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社